

# 消化器センター外科

## I. スタッフ紹介

### 『消化器センター外科』

役職: 消化器センター外科主任部長

氏名: 寺嶋宏明 「専門領域:肝胆膵外科、消化器外科」

資格: 京都大学医学博士、日本外科学会 指導医・専門医・認定医、日本消化器外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 消化器がん治療認定医、日本肝胆膵外科学会 評議員、日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医、近畿外科学会 評議員

役職: 消化器センター外科部長→2016年9月退職

氏名: 金澤旭宣 「専門領域:消化管外科、特に大腸外科・癌化学療法」

資格: 京都大学医学博士、日本外科学会 指導医・専門医・認定医、日本消化器外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 消化器がん治療認定医、日本内視鏡外科学会 評議員、日本内視鏡外科学会 技術認定医(大腸)、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医/暫定教育医、日本臨床腫瘍学会 暫定教育医、近畿外科学会 評議員

役職: 消化器センター外科副部長

氏名: 上田修吾 「専門領域:消化管外科、特に胃外科・食道外科・癌化学療法」

資格: 京都大学医学博士、日本外科学会 専門医・認定医、日本消化器外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 消化器がん治療認定医、日本がん治療認定医機構 暫定教育医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本食道学会 食道科認定医/食道外科専門医、近畿外科学会 評議員

役職: 消化器センター外科副部長→2016年9月採用

氏名: 福田明輝 「専門領域:消化管外科、特に大腸外科・癌化学療法、救急医療」

資格: 日本外科学会 専門医、日本内視鏡外科学会 技術認定医(大腸)、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本救急医学会 専門医

役職: 消化器センター外科副部長

氏名: 内田洋一朗 「専門領域:肝胆膵外科、消化器外科」

資格: 関西医大医学博士、日本外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 専門医、日本消化器外科学会 消化器がん治療認定医、日本肝臓学会 専門医、日本移植学会 移植認定医、日本肝胆膵外科学会 評議員、近畿外科学会 評議員

役職: 消化器センター外科副部長

氏名: 堀口雅史「専門領域:消化器外科」

資格: 日本外科学会 認定登録医

役職: 消化器センター外科医員→2017年3月退職

氏名: 山本健人 「専門領域:消化器外科、一般外科」

資格: 日本外科学会 専門医

役職: 消化器センター外科医員→2017年3月退職

氏名: 岡本拓也 「専門領域:消化器外科、一般外科」

資格: 日本外科学会 専門医

役職: 消化器センター外科医員→2017年3月退職  
氏名: 後藤徹 「専門領域:消化器外科、一般外科」  
資格: 日本外科学会 専門医

役職: 消化器センター外科後期研修医  
氏名: 松原弘侑(→2017年3月退職)、大野龍、三木晶森

## II. 診療・治療の特徴

### ☆ 消化器センター外科の特色

医学研究所が設立母体である当院は科学的根拠に基づき、患者に最適かつ最良の治療方法を見つけだし、治療にあたることを理念とし医療を行っている。06年より従来の消化器内科と外科を統合し発足した消化器センターにおいても消化器癌の治療に際し、最新の研究成果・知見をいかに臨床に導入すべきかを検討しつつ、効率のよい集学的治療を目指している。ともすると敬遠されがちな再発癌への対応としては初期治療のみならず、厳重な術後フォローアップに力を入れ、早期診断、治療への新しい取り組みに努めている。

年間の全手術数は800件以上、全身麻酔件数が600件以上である。

(延入院患者数 15,758人 延外来患者数 9,002人)

#### 食道癌

年間手術症例は10例。ごく早期の癌に内視鏡的粘膜切除を行う以外は、開胸・開腹手術を標準術式としている。進行食道癌に対しては術前化学療法を積極的に施行、良好な成績が得られている。症例によっては、開腹操作は腹腔鏡下や用手的腹腔鏡補助下(HALS)の、開胸操作は胸腔鏡下(VATS)の低侵襲手術を導入している。術後は必要に応じて化学療法を併用している。早期癌といえども予後不良な食道癌に対しては、徹底した集学的治療が必要と考えている

#### 胃癌

年間手術症例は60~80例。早期胃癌については進行度に応じて、「内視鏡的粘膜切除術(EMR)か内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)」または「腹腔鏡補助下胃切除(幽門側胃切除 / 噴門側胃切除 / 胃全摘)」を選択する。通常の進行胃癌に対しては、幽門側胃切除または胃全摘+D2リンパ節郭清を標準術式としているが、高度進行胃癌(高度リンパ節転移例、スキルス胃癌など)に対しては、診断的腹腔鏡で病変を正確に評価した上で、「術前化学療法」を1~2ヶ月施行した後に、根治術を施行する治療戦略を施行し、良好な成績を得ている。

#### 大腸癌

年間手術症例は150~180例。結腸癌の早期癌に対しては、消化器センター内科において内視鏡的切除術を第一選択として行っている。手術適応症例に対しては腹腔鏡下大腸切除術(年間100~120例)を原則としている。高度進行例でも根治性が期待できる切除可能進行癌においては、徹底したリンパ節郭清・隣接臓器合併切除を積極的に行っている。直腸癌では術後のQOLを考慮し、できる限り肛門温存、自律神経温存に努めている。なお、2014年より、直腸癌に対するda Vinci ロボット支援手術を希望患者に対してのみ導入している。

大腸癌の大きな予後規定因子である肝転移に対しては積極的な肝切除を行っており、切除不能肝転移症例に対しても、全身化学療法により肝転移巣を縮小させた後に、原発巣と肝転移巣を切除する、“conversion therapy”も導入している。一方で、肝転移症例は切除後も高頻度に再発(肝、肺など)を

認めるが、外科的切除(再肝切除/再々肝切除や肺切除/再肺切除)を積極的に組み入れて、長期生存を得られる症例も増加している。

### 肝癌

年間手術症例 30~40 例。肝細胞癌は、腫瘍因子(個数、位置、局在)と肝機能の総合的評価により治療法が選択・決定される。当科では、肝機能が良好(肝障害AまたはB)で単発または 2-3 個までであれば、積極的に切除を行っている。また、肝細胞癌は慢性肝障害(HBV感染、HCV感染)がベースにあるため高頻度に再発する疾患であるが、消化器内科との協力の下、術後は厳重なフォローアップを行っており、早期に再発を診断した上で、経肝動脈塞栓術(TACE)や経皮的ラジオ波焼灼術(RFA)などの治療を実践している。また、症例によっては再肝切除も考慮している。

一方、転移性肝癌(大腸癌由来)については、切除可能症例については積極的な肝切除を行っているが、切除不能症例でも、mFOLFOX6+分子標的治療薬(KRAS wildならCetuximabまたはPanitumumab、KRAS mutantならBevacizumab)の全身化学療法によって腫瘍が縮小化した場合には、切除の対象としている。また、肝切除後の再発症例でも、再肝切除や再々肝切除を積極的に行い、長期予後改善を目指している。

### 膵胆道癌

年間手術症例は 20~30 例。膵癌については、画像診断(MDCT, DWI-MRI, FDG-PET, perfusion CTなど)や内視鏡的診断(EUS, EUS-FNA)の進歩により 1cm以下のT1 症例のみならずTis症例の診断も可能となり、5年生存率はfStage I で 100%、fStage II では 75%の成績を挙げている。進行膵癌については、拡大リンパ節郭清の意義が疑問視されているが、当科では神経叢郭清を含めたD2 リンパ節郭清を行い、門脈合併切除も積極的に行っている。進行膵体部癌には、腹腔動脈合併切除(DP-CAR)も積極的に行っている。また術後補助化学療法(1<sup>st</sup> choice: S-1, 2<sup>nd</sup> choice: Gemcitabine)を追加することで治療成績向上を目指している。一方切除不能進行膵癌に対しては、病変の状況により(局所進行か遠隔転移か)、全身化学療法(FOLFIRINOXやGEM+nab-PTX)や放射線化学療法(RT+S-1 またはRT+GEM)を選択しており、これらの術前治療で切除に移行できた症例も経験している。

胆管癌については、血管浸潤例を含めて外科的切除を原則としており、中・下部胆管癌には垂全胃温存膵頭十二指腸切除、肝門部・上部胆管癌には肝切除+胆道再建を基本術式としている。縮小手術(胆管切除+胆道再建+リンパ節郭清)は、非常に早期の胆管癌や超高齢や合併症を有するriskの高い症例に対してのみ行っている。広範囲進展型胆管癌では、術前門脈塞栓後に、肝膵同時切除(HPD)を施行する。また、門脈合併切除再建のみならず肝動脈切除再建にも積極的に取り組んでいる。

胆嚢癌については、壁深達度に応じて、m癌は単純胆摘(全層)、mp癌は胆摘+リンパ節郭清、ss癌は肝床切除+リンパ節郭清(+胆道再建)、se癌以上では肝切除(S4a+S5 切除または右肝切除)+胆道再建+リンパ節郭清、を基本術式としている。

胆道癌で葉切除以上の肝切除が必要でかつ残肝容量が少ない場合には、術前門脈塞栓術(経皮経肝的アプローチ)を行い、残肝肥大を得た上での安全な手術を実施している。

### その他

胆石症は年間 150~180 例(腹腔鏡下切除は 100~150 例)、ヘルニアは年間 100~150 例であり、腹壁癒痕ヘルニアや鼠径ヘルニアに対して腹腔鏡下手術を導入している。

**医療設備:** MRI、MD-CT、造影超音波診断装置、血管造影装置、RFA(ラジオ波焼灼装置)、腹腔鏡下手術装置、超音波外科吸引装置(CUSA)、VIO、Vincent 3D 画像解析システム、da Vinci ロボット支援外科手術システム、内視鏡手術システム



### Ⅲ. 研究

#### ①主催学会、研究会、セミナー

- ★7th International Forum of Liver Surgery: 2016/4/9(土)~4/10(日)
- ★第13回消化器センターK2-Net: 2016/7/28(木)
- ★第6回若手外科医のための消化器外科セミナー: 2016/8/21(日)

#### ②研究活動内容: 文部科学省・厚生労働省・その他団体からの研究助成

- ★内田洋一朗: 肝虚血再灌流障害における Galectin-9 の役割の解明(学術研究助成基金助成金 H27-29年度 基盤研究C)
- ★内田洋一朗: 肝虚血再灌流障害におけるリコモジュリンの抗炎症作用の機序解明(旭化成ファーマ共同研究助成費)
- ★寺嶋宏明、内田洋一朗: トロンボモジュリンによる肝虚血再灌流障害の抑制効果の解明(学術研究助成基金助成金 H27-29年度 基盤研究C)
- ★内田洋一朗: TLR4(Toll-like receptor 4)経路に関するリコモジュリンの有用性の検討(旭化成ファーマ学術研究助成費)
- ★内田洋一朗: 抗酸化栄養素を含有する栄養剤を用いたマウス肝障害モデルにおける研究(イーエヌ大塚学術研究助成費)
- ★上田修吾: CHP/NY-ESO-1 ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第Ⅱ相臨床試験(三重大学 AMED 研究費)

#### ③共同研究施設

- ☆ 京都大学 肝胆膵移植外科
- ☆ 京都大学 消化管外科
- ☆ 三重大学 遺伝子・免疫細胞治療学教室

#### ④学会・研究会発表

- 1 Toru Goto, Hiroaki Terajima, Akira Mori, Yoichiro Uchida, Ryo Ohno, Hiroyuki Matsubara, Takuya Okamoto, Takehito Yamamoto, Shugo Ueda, Akiyoshi Kanazawa What's advantage of preoperative liver simulation? -to perform safer and higher-quality hepatectomy- The 7th International Forum of Liver Surgery 2016/4/9 (Osaka, Japan)
- 2 内田洋一朗、平尾浩史、門野賢太郎、山内清明、上田修吾、森 章、金澤旭宣、上本伸二、寺嶋宏明 肝虚血再灌流障害における Galectin-9 による制御機構の解明 第16回日本外科学会 2016/4/14 (大阪)
- 3 寺嶋宏明、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、内田洋一朗、上田修吾、森 章、金澤旭宣 膵頭十二指腸切除術後の膵瘻発症を如何に抑えるか? ~non high-volume center での取り組みと治療成績~ 第16回日本外科学会 2016/4/14 (大阪)
- 4 森 章、内田洋一朗、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、上田修吾、金澤旭宣、寺嶋宏明 膵頭十二指腸切除術における Surgical site infection (SSI) について 第16回日本外科学会 2016/4/14 (大阪)
- 5 山本健人、金澤旭宣、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、内田洋一朗、上田修吾、森 章、寺嶋宏明 進行再発大腸癌におけるバイオマーカーの探索-26種の遺伝子検索から得られた考察- 第16回日本外科学会 2016/4/14 (大阪)

- 6 岡本拓也、金澤旭宣、松原弘侑、後藤 徹、山本健人、内田洋一郎、上田修吾、森 章、寺嶋宏明  
Covering ileostomy 閉鎖における癒着防止吸収性バリアの有用性 第 16 回日本外科学会  
2016/4/14 (大阪)
- 7 松原弘侑、金澤旭宣、江見泰徳、室 圭、辻 晃仁、沖 英次、吉野孝之、山崎健太郎、山中竹春、  
加藤健志 切除不能な進行・再発大腸癌に対する初回治療としての FOLFOXIRI+bevacizumab 療  
法の初期安全性～第Ⅱ相臨床試験 QUATTRO 試験～ 第 16 回日本外科学会 2016/4/14 (大  
阪)
- 8 岡田はるか、内田洋一郎、後藤 徹、大野 龍、松原弘侑、岡本拓也、山本健人、上田修吾、森 章、  
金澤旭宣、寺嶋宏明 集学的治療を必要とした胆嚢原発膵内分泌細胞癌の 1 例 第 16 回日本  
外科学会 2016/4/14 (大阪)
- 9 石井隆道、波多野悦朗、田浦康二郎、安近健太郎、古山裕章、間中 大、寺嶋宏明、有本 明、  
京極高久、田中 明、本田五郎、上本伸二 中央肝切除における術後胆汁漏の予防策:101 例の  
多施設共同前向き観察研究 第 16 回日本外科学会 2016/4/14 (大阪)
- 10 星野伸晃、肥田侯矢、長谷川傑、河田健二、猪股雅史、伊藤雅昭、福長洋介、金澤旭宣、井谷史  
嗣、渡邊昌彦、坂井義治 Stage IV 大腸癌患者の予後における Hospital type の影響 腹腔鏡下  
大腸切除研究会の症例より 第 16 回日本外科学会 2016/4/14 (大阪)
- 11 安達智洋、檜井孝夫、川口康夫、大段秀樹、金澤旭宣、中西正芳、久保義郎、伊藤雅昭、猪俣雅  
史、伴登宏行、八岡利昌、植木 隆、渡邊昌彦 80 歳以上の高齢者根治切除施行大腸がん手術  
症例における BMI による解析 第 16 回日本外科学会 2016/4/14 (大阪)
- 12 長谷川傑、後藤沙織、松本卓也、肥田侯矢、川村純一郎、山之口賢、山口高志、松末 亮、  
門川佳央、加藤 滋、間中 大、西躰隆太、野村明成、金澤旭宣、河田健二、京極高久、坂井義治  
進行直腸癌に対する術前化学療法の多施設共同 第 2 相試験の短期成績 第 16 回日本外科学  
会 2016/4/14 (大阪)
- 13 Toru Goto, Akira Mori, Yoichiro Uchida, Ryo Ohno, Hiroyuki Matsubara, Takuya Okamoto, Takehito  
Yamamoto, Syugo Ueda, Akiyoshi Kanazawa, Hiroaki Terajima Preoperative simulation intended to  
anatomically reduced central bisegmentectomy of the liver IHPBA 2016 2016/4/20 (São  
Paulo, Brazil)
- 14 山本健人、金澤旭宣、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、堀口雅史、  
内田洋一郎、上田修吾、寺嶋宏明 腹腔鏡下 S 状結腸切除術 第 20 回京都臨床外科セミナー  
2016/4/30 (京都)
- 15 内田洋一郎 急性期耐糖能異常に対する栄養管理 第 4 回 関西-DRAGON 勉強会  
2016/5/7 (大阪)
- 16 伊藤聖顕、松原弘侑、内田洋一郎、三木晶森、大野 龍、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、  
堀口雅史、上田修吾、金澤旭宣、寺嶋宏明 骨髄移植後に胆道出血を繰り返し診断・治療に苦  
慮した一例 第 611 回大阪外科集談会 2016/5/21 (大阪)
- 17 岡本拓也、金澤旭宣、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、山本健人、内田洋一郎、上田修吾、森  
章、寺嶋宏明 Air Enema 法を用いた直腸 DST 吻合 circular stapler 挿入の有用性 第 70 回手  
術手技研究会 2016/5/21 (東京)
- 18 Toru Goto, Hiroaki Terajima The application of preoperative liver simulation to perform safer and  
higher-quality hepatectomy The 51st Congress of the European Society for Surgical Research  
(ESSR) 2016/5/25 (Prague, Czech Republic)
- 19 Hiroaki Terajima, Tohru Gotoh, Hiroyuki Matsubara, Ryu Ohno, Taku Okamoto,  
Takehito Yamamoto, Yoichiro Uchida, Shugo Ueda, Akira Mori, Akiyoshi Kanazawa The significant  
role of preoperative three-dimensional imaging and simulation in anatomical right-sided  
hepatectomy for gallbladder carcinoma with complicated portal vein anomaly associated with

right-sided round ligament The 51st Congress of the European Society for Surgical Research (ESSR) 2016/5/25 (Prague, Czech Republic)''

- 20 山本健人、金澤旭宣、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、堀口雅史、内田洋一郎、上田修吾、寺嶋宏明 腹腔鏡下直腸切断術 第 7 回腹腔鏡下大腸切除研究会 2016/5/27 (沖縄)
- 21 後藤 徹、森 章、内田洋一郎、松原弘侑、岡本拓也、山本健人、寺嶋宏明 安全かつ高水準な肝切除術を目指した術前 simulation 導入の意義 第 28 回日本肝胆膵外科学会 2016/6/2 (大阪)
- 22 後藤 徹、森 章、内田洋一郎、松原弘侑、岡本拓也、山本健人、寺嶋宏明 肝臓術前シミュレーションの応用:非典型解剖、非定型手術にどう立ち向かうか 第 28 回日本肝胆膵外科学会 2016/6/2 (大阪)
- 23 森 章、寺嶋宏明、内田洋一郎、松原弘侑、後藤 徹、山本健人 膵頭十二指腸切除再建法の定型化の意義 第 28 回日本肝胆膵外科学会 2016/6/2 (大阪)
- 24 松原弘侑、森 章、大野 龍、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、内田洋一郎、寺嶋宏明 当科における主膵管結紮に重点を置いた膵体尾部切除術の膵切離法 第 28 回日本肝胆膵外科学会 2016/6/2 (大阪)
- 25 寺嶋宏明、松原弘侑、後藤 徹、山本健人、内田洋一郎、森 章 肝門部領域癌の切除適応拡大に向けての breakthrough ~血管合併切除を伴う左側肝切除を経験して 第 28 回日本肝胆膵外科学会 2016/6/2 (大阪)
- 26 大野 龍、森 章、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、内田洋一郎、寺嶋宏明 当院における腹腔鏡下再肝切除症例の比較検討 第 28 回日本肝胆膵外科学会 2016/6/2 (大阪)
- 27 山本健人、寺嶋宏明、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、内田洋一郎、森 章 浸潤性膵管癌における 1mm ルールによる R0 切除の臨床的意義 第 28 回日本肝胆膵外科学会 2016/6/2 (大阪)
- 28 岡田はるか、森 章、内田洋一郎、寺嶋宏明 高齢者に対する膵頭十二指腸切除術の治療成績の検討 第 28 回日本肝胆膵外科学会 2016/6/2 (大阪)
- 29 岡本拓也、寺嶋宏明、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、山本健人、内田洋一郎、森 章 膵頭十二指腸切除術と膵体尾部切除術における術後膵瘻への手術手技と術後対策 第 28 回日本肝胆膵外科学会 2016/6/2 (大阪)
- 30 石井隆道、波多野悦朗、安近健太郎、田浦康二郎、待本貴文、西躰隆太、内田洋一郎、古山裕章、間中 大、寺嶋宏明、上本伸二 肝中央切除術における術後胆汁漏の予防策:101 例の多施設共同前向き観察研究から得られた知見 第 28 回日本肝胆膵外科学会 2016/6/2(大阪)
- 31 岡本拓也、金澤旭宣、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、山本健人、内田洋一郎、上田修吾、森 章、寺嶋宏明 SEMS 留置後の腹腔鏡下直腸切除術 第 41 回日本外科系連合学会 2016/6/15 (大阪)
- 32 後藤 徹、寺嶋宏明、堀口雅史、内田洋一郎、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、岡本拓也、山本健人、上田修吾、金澤旭宣 ビデオコンテスト~系統的切除~「肝中央 2 区域切除変法」第 12 回関西肝臓外科医育成の会 2016/6/25 (大阪)
- 33 内田洋一郎、寺嶋宏明、後藤 徹、大野 龍、松原弘侑、岡本拓也、山本健人、堀口雅史、上田修吾、金澤旭宣 高度侵襲手術に対する周術期管理 一当院での取り組み一第 8 回日本静脈経腸栄養学会近畿支部学術集会 2016/7/2 (神戸)
- 34 松岡 森、内田洋一郎、本田憲胤、吉田 都、寺嶋 宏明 肝胆膵領域癌患者の周術期における体組成分析装置による解析 第 8 回日本静脈経腸栄養学会近畿支部学術集会 2016/7/2 (神戸)
- 35 福田美由紀、内田洋一郎、松岡 森、金田恵美、山崎みどり、吉田 都、山内利香、垣内真子、

- 阿賀千香子、池上由利子、北出順子、井下春美、野田祥子、浅野奈穂子、本庶祥子、河崎祐貴子、岡本拓也、金澤旭宣、佐藤正人 柿胃石による食餌性腸閉塞から心肺停止をきたした一例 第 53 回日本外科代謝栄養学会学術集会 2016/7/7 (東京)
- 36 上田修吾、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、内田洋一郎、森 章、金澤旭宣、寺嶋宏明 腹膜播種胃癌症例に対する治療戦略 第 71 回日本消化器外科学会 2016/7/14 (徳島)
- 37 山本健人、金澤旭宣、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、内田洋一郎、上田修吾、森 章、寺嶋宏明 風腔鏡下直腸切断術における安全かつ簡便な切離ラインの設定～Needle-Guided LAPR～ 第 71 回日本消化器外科学会 2016/7/14 (徳島)
- 38 後藤 徹、森 章、大野 龍、松原弘侑、岡本拓也、山本健人、内田洋一郎、上田修吾、金澤旭宣、寺嶋宏明 安全な肝葉切除を目指した術前 simulation 導入の意義についての検討 第 71 回日本消化器外科学会 2016/7/14 (徳島)
- 39 大野 龍、上田修吾、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、内田洋一郎、森 章、金澤旭宣、寺嶋宏明 当院における残胃癌手術症例の検討 第 71 回日本消化器外科学会 2016/7/14 (徳島)
- 40 岡田はるか、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、内田洋一郎、上田修吾、金澤旭宣、森 章、寺嶋宏明 高齢者に対する臍頭十二指腸切除術の治療成績の検討 第 71 回日本消化器外科学会 2016/7/14 (徳島)
- 41 濱口桃香、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、内田洋一郎、上田修吾、金澤旭宣、森 章、寺嶋宏明 当院における急性虫垂炎の治療－腹腔鏡下手術の適応と有用性－第 71 回日本消化器外科学会 2016/7/14 (徳島)
- 42 三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、内田洋一郎、上田修吾、金澤旭宣、森 章、寺嶋宏明 臍部腫瘤を契機に発見された直腸 S 状部癌の 1 例 第 71 回日本消化器外科学会 2016/7/14 (徳島)
- 43 檜井孝夫、川口康夫、服部 稔、岡島正純、井出義人、赤本伸太郎、金澤旭宣、中西正芳、渡邊昌彦 80 歳以上高齢者大腸癌手術で開腹術既往の有無が手術成績に及ぼす影響－腹腔鏡および開腹手術での後向き調査 第 71 回日本消化器外科学会 2016/7/14 (徳島)
- 44 Hiroaki Terajima, Akira Kurita, Yasushi Kudo, Shujiro Yazumi, and Akira Mori The clinical impact of margin status on recurrence and survival after curative intent surgery for pancreatic ductal adenocarcinoma The Joint Conference of 47th JPS(第 47 日本膵臓学会), 20th IAP, and 6th AOPA 2016/8/4 (Sendai, Japan)
- 45 岡本拓也、金澤旭宣 モーニングセミナー:大腸がん手術における ERAS(術後回復強化)プロトコールー疼痛管理の重要性ー 術後早期回復のために適切な鎮静剤とは? 5th Reduced Port Surgery Forum 2016 in Osaka (第 15 回 Needlescopic Surgery Meeting, 第 10 回単孔式内視鏡手術研究会) 2016/8/5 (大阪)
- 46 後藤 徹、金澤旭宣、大野 龍、松原弘侑、岡本拓也、山本健人、内田洋一郎、堀口雅史、上田修吾、寺嶋宏明 癒着が予想される直腸癌症例に対する RPS の応用 5th Reduced Port Surgery Forum 2016 in Osaka (第 15 回 Needlescopic Surgery Meeting, 第 10 回単孔式内視鏡手術研究会) 2016/8/5 (大阪)
- 47 松原弘侑、金澤旭宣、三木晶森、大野 龍、後藤 徹、山本健人、岡本拓也、堀口雅史、内田洋一郎、寺嶋宏明 腹腔鏡下直腸癌手術におかる Reduced Port Surgery の導入と手技の定型化 5th Reduced Port Surgery Forum 2016 in Osaka (第 15 回 Needlescopic Surgery Meeting, 第 10 回単孔式内視鏡手術研究会) 2016/8/5 (大阪)
- 48 山本健人、金澤旭宣、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、寺嶋宏明 一般市中病院における TaTME (Transanal Total Mesorectal Excision)の安全な導入と現状 5th Reduced



Port Surgery Forum 2016 in Osaka (第 15 回 Needlescopic Surgery Meeting, 第 10 回単孔式内視鏡手術研究会) 2016/8/5 (大阪)

- 49 内田洋一朗、寺嶋宏明、森 章、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、堀口雅史、上田修吾、金澤旭宣 臍頭十二指腸切除術後におけるドレーン管理 第 43 回日本臍切研究会 2016/8/19 (東京)
- 50 R. Ohno, A. Kanazawa, Y. Shinomiya, A. Miki, H. Matsubara, T. Goto, T. Okamoto, T. Yamamoto, Y. Uchida, M. Horiguchi, S. Ueda, and H. Terajima The clinical benefit of purse-string closure compared with conventional closure of ileostomy or colostomy closure The 33rd Congress of the Pan-Pacific Surgical Association Japan Chapter 2016/9/9 (Honolulu, Hawaii)
- 51 T. Okamoto, A. Kanazawa, Y. Shinomiya, R. Ohno, H. Matsubara, T. Goto, T. Yamamoto, Y. Uchida, M. Horiguchi, S. Ueda, and H. Terajima Air Enema method for double stapling technique anastomosis in anterior resection of the rectum The 33rd Congress of the Pan-Pacific Surgical Association Japan Chapter 2016/9/9 (Honolulu, Hawaii)
- 52 内田洋一朗、上田修吾、森 章、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、金澤旭宣、寺嶋宏明 消化器外科領域におけるトロンボモジュリン製剤の使用経験 Critical Care DIC Forum in Osaka 2016/9/10 (大阪)
- 53 内田洋一朗 現在まで歩んできた道と現在取り組んでいる活動官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～(文部科学省事業) 2016/9/15 (大阪)
- 54 後藤 徹、寺嶋宏明、堀口雅史、内田洋一朗、三木晶森、大野龍、松原弘侑、岡本拓也、山本健人、上田修吾、金澤旭宣 前区域解剖を踏まえた肝中央 2 区域切除における系統的縮小手術 第 11 回肝癌治療シミュレーション研究会 2016/9/17 (大阪)
- 55 後藤 徹、寺嶋宏明、堀口雅史、内田洋一朗、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、岡本拓也、山本健人、上田修吾、金澤旭宣 術前解析を駆使した肝中央 2 区域切除における系統的縮小手術 第 18 回京都肝胆膵外科セミナー 2016/9/17 (京都)
- 56 内田洋一朗、寺嶋宏明、松原弘侑、後藤 徹、三木晶森、大野 龍、岡本拓也、山本健人、堀口雅史、上田修吾、金澤旭宣、山下大生、西村 聡、工藤 寧、栗田 亮、八隅秀二郎 診断・治療に難渋した胆道神経内分泌癌再発の 2 症例 第 4 回日本神経内分泌腫瘍研究会 2016/9/24 (東京)
- 57 寺嶋宏明、内田洋一朗、工藤 寧、栗田 亮、八隅秀二郎 広範囲肝切除および胆道再建を要する胆道癌の治療成績向上をめざした non high-volume center での取り組み 第 52 回日本胆道学会 2016/9/29 (横浜)
- 58 山本健人、上田修吾、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、堀口雅史、内田洋一朗、福田明輝、寺嶋宏明 実地臨床における胃癌治療について検討する症例提示 大阪胃癌化学療法研究会 2016/10/7 (大阪)
- 59 山本健人、上田修吾、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、堀口雅史、内田洋一朗、福田明輝、寺嶋宏明 切除不能進行再発胃癌に対する second line での ramcirumab 使用経験 大阪胃癌化学療法研究会 2016/10/7 (大阪)
- 60 上田修吾、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、堀口雅史、内田洋一朗、金澤旭宣、寺嶋宏明 胃癌術後補助化学療法における経腸栄養・漢方製剤による支持療法の有用性 第 54 回日本癌治療学会学術集会 2016/10/20 (横浜)
- 61 松原弘侑、金澤旭宣、大野 龍、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、堀口雅史、内田洋一朗、上田修吾、寺嶋宏明 当院における切除不能進行再発の結腸・直腸癌に対する TAS-102 の治療成績 第 54 回日本癌治療学会学術集会 2016/10/20 (横浜)
- 62 富田寿彦、石神浩徳、藤原義之、門脇重憲、小寺泰弘、今本治彦、今野元博、福島亮治、秀村晃

- 生、上田修吾、梨本 篤、藪崎 裕、楠本哲也、上之園芳一、北山丈二 腹膜播種陽性胃癌に対するS-1/oxaliplatin+paclitaxel 腹腔内投与併用療法の第II相試験 第54回日本癌治療学会学術集会 2016/10/20 (横浜)
- 63 岡部 寛、金城洋介、小濱和貴、細木久裕、畑 啓昭、浅生義人、原田英樹、間中 大、伊丹 淳、三木 明、上田修吾、田中 満、井上直也、手良向聡、坂井義治 補中益気湯による胃癌術後補助療法の完遂向上を目指したランダム化第II相試験: KUGC07 第54回日本癌治療学会学術集会 2016/10/20 (横浜)
- 64 上田修吾 胃 GIST 肝転移再発術後グリベック内服治療中に硬膜下血腫を生じた一例 第24回近畿 GIST 研究会 2016/10/29 (大阪)
- 65 森 章、内田洋一朗、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、上田修吾、金澤旭宣、寺嶋宏明 臍頭十二指腸切除術における臍瘻予防策 JDDW2016 2016/11/3 (神戸)
- 66 松原弘侑、金澤旭宣、三木晶森、大野 龍、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、内田洋一朗、上田修吾、森 章、寺嶋宏明 局所進行下部直腸癌に対する術前放射線化学療法を併用した腹腔鏡下手術の安全性及び短期治療成績の検討 JDDW 2016 2016/11/3 (神戸)
- 67 山本健人、金澤旭宣、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、堀口雅史、内田洋一朗、上田修吾、寺嶋宏明 腹腔鏡下直腸切除術における DST 吻合の定型化～縫合不全を最小限にする取り組み～ 第71回大腸肛門病学会学術集会 2016/11/18 (三重)
- 68 小寺澤成紀、内田洋一朗、松原弘侑、三木晶森、大野 龍、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、堀口雅史、福田明輝、上田修吾、寺嶋宏明 巨大メッケル憩室炎による腸閉塞に対して腹腔鏡下手術が有効であった一例 第614回大阪外科集談会 2016/11/19 (大阪)
- 69 後藤 徹、寺嶋宏明、大野 龍、三木晶森、松原弘侑、岡本拓也、山本健人、内田洋一朗、堀口雅史、福田明輝、上田修吾 腹腔鏡下肝切除導入における切離戦略変更と課題 第10回肝臓内視鏡外科学研究会 2016/11/23 (東京)
- 70 山本健人、寺嶋宏明、内田洋一朗、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、堀口雅史、上田修吾 腹腔鏡下肝切除術における再肝切除の安全性に関する検討 第10回肝臓内視鏡外科学研究会 2016/11/23 (東京)
- 71 山本健人、金澤旭宣、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、堀口雅史、内田洋一朗、上田修吾、寺嶋宏明 高齢者の左側結腸・直腸癌に対する腹腔鏡手術の安全性に関する検討 第78回日本臨床外科学会総会 2016/11/24 (東京)
- 72 寺嶋宏明、内田洋一朗、上田修吾、後藤 徹、山本健人、金澤旭宣 系統的肝切除における肝門部脈管処理の strategy～個別処理とグリソン一括処理の使い分け～ 第78回日本臨床外科学会総会 2016/11/24 (東京)
- 73 後藤 徹、寺嶋宏明、岡本拓也、山本健人、内田洋一朗、上田修吾、金澤旭宣 肝中央2区域切除における系統的縮小手術～前区域と尾状葉の解剖にこだわったシミュレーションによる Glissonean approach～ 第78回日本臨床外科学会総会 2016/11/24 (東京)
- 74 大野 龍、金澤旭宣、三木晶森、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、内田洋一朗、堀口雅史、上田修吾、寺嶋宏明 当院における人工肛門閉鎖時の purse-string closure の有用性 第78回日本臨床外科学会総会 2016/11/24 (東京)
- 75 岡本拓也、寺嶋宏明、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、山本健人、堀口雅史、内田洋一朗、上田修吾、金澤旭宣 当院での臍頭十二指腸切除術における再建の工夫 第78回日本臨床外科学会総会 2016/11/24 (東京)
- 76 佐藤愛実、金澤旭宣、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、山本健人、岡本拓也、堀口雅史、内田洋一朗、上田修吾、寺嶋宏明 人工肛門閉鎖術後に劇症型 Clostridium difficile 腸炎をきたした1例 第78回日本臨床外科学会総会 2016/11/24 (東京)
- 77 内田洋一朗、寺嶋宏明、三木晶森、大野 龍、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、堀口雅史、

- 上田修吾、金澤旭宣 局所高度進行膵癌に対する R0 切除を目指した集学的治療戦略 第 78 回日本臨床外科学会総会 2016/11/24 (東京)
- 78 大野 龍、金澤旭宣、三木晶森、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、内田洋一郎、堀口雅史、福田明輝、上田修吾、寺嶋宏明 人工肛門閉鎖術における Purse-string Skin Closure の有用性 平成 28 年度京都大学外科冬季研究会 2016/12/3 (京都)
- 79 山本健人、金澤旭宣、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、堀口雅史、内田洋一郎、上田修吾、寺嶋宏明 腹腔鏡下手術教育の観点から考える TaTME (Transanal Total Mesorectal Excision) 第 29 回日本内視鏡外科学会総会 2016/12/8 (東京)
- 80 松原弘侑、金澤旭宣、三木晶森、大野 龍、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、内田洋一郎、上田修吾、森 章、寺嶋宏明 左側結腸・直腸癌に対する腹腔鏡下手術の術や展開の工夫とコツ第 29 回日本内視鏡外科学会総会 2016/12/8 (横浜)
- 81 内田洋一郎、大野 龍、三木晶森、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、山本健人、堀口雅史、上田修吾、金澤旭宣、寺嶋宏明 腹直筋皮弁による腹壁再建後の肝細胞癌再発に対して腹腔鏡下再肝切除を施行した 1 例 第 29 回日本内視鏡外科学会総会 2016/12/8 (横浜)
- 82 寺嶋宏明、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、山本健人、岡本拓也、堀口雅史、内田洋一郎、福田明輝、上田修吾 肝 navigation はどこに向かうべきなのか? ~ 一般市中病院肝臓外科医からの素朴な疑問 第 1 回肝ナビゲーション研究会 2017/1/14 (東京)
- 83 内田洋一郎、寺嶋宏明、後藤 徹、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、岡本拓也、山本健人、堀口雅史、福田明輝、上田修吾 肝内門脈分岐異常を伴う胆道癌に対する治療アプローチ 第 45 回近畿肝臓外科研究会 2017/2/18 (大阪)
- 84 Y. Uchida, H. Terajima, T. Okamoto, A. Miki, R. Ohno, H. Matsubara, T. Goto, T. Yamamoto, M. Horiguchi, M. Fukuda, and S. Ueda The significance of standardization for pancreatoduodenectomy to suppress postoperative pancreatic fistula The 4th Kansai-Yeungnam HBP Surgeons Joint Meeting 2017/3/3 (Kobe, Japan)
- 85 山本健人、福田明輝、三木晶森、大野 龍、松原弘侑、後藤 徹、岡本拓也、堀口雅史、内田洋一郎、上田修吾、寺嶋宏明 当院における腹腔鏡下側方郭清を伴う直腸癌手術の定型化 第 14 回兵庫手術手技ビデオカンファレンス 2017/3/4 (神戸)

## ⑤論文

- 1 Takamichi Ishii, Etsuro Hatano, Hiroaki Furuyama, Dai Manaka, Hiroaki Terajima, and Shinji Uemoto Preventive measures for postoperative bile leakage after central hepatectomy: A multicenter, prospective, observational study of 101 patients *World J Surg* 40(7):1720-8, 2016.
- 2 Takeharu Yamanaka, Eiji Oki, Kentaro Yamazaki, Kensei Yamaguchi, Kei Muro, Hiroyuki Uetake, Takeo Sato, Tomohiro Nishina, Masataka Ikeda, Takeshi Kato, Akiyoshi Kanazawa, Tetsuya Kusumoto, Calvin Chao, Margarita Lopatin, Jayadevi Krishnakumar, Helen Bailey, Kiwamu Akagi, Atsushi Ochiai, Atsushi Ohtsu, Yasuo Ohashi, and Takayuki Yoshino 12-Gene Recurrence Score Assay Stratifies the Recurrence Risk in Stage II/III Colon Cancer With Surgery Alone: The SUNRISE Study *J Clin Oncol* 34(24):2906-13, 2016.
- 3 M. Kinoshita, S. Kubo, Y. Nakanuma, Y. Sato, S. Takemura, S. Tanaka, G. Hamano, T. Ito, H. Terajima, T. Yamada, S. Nakamori, A. Arimoto, M. Fujikawa, Y. Sugawara, T. Yamamoto, M. Abue, K. Nakagawa, M. Unno, T. Mizuguchi, K. Takenaka, K. Shirabe, T. Shibata. Pathological spectrum of bile duct lesions from chronic bile duct injury to invasive cholangiocarcinoma corresponding to bile duct imaging findings of occupational cholangiocarcinoma. *J Hepatobiliary Pancreat Sci*, 23(2): 92-101, 2016.

- 4 Takehito Yamamoto, Akiyoshi Kanazawa, Hiroyuki Matsubara, Takuya Okamoto Safety and usefulness of needle-guided resection of levator muscles in laparoscopic abdominoperineal resection for low rectal cancer *Videosurgery Miniinv* 2016; 11 (3): 186–191
- 5 M. Kaibori, H. Nitta, M. Hayashi, S. Takemura, H. Nagano, K. Matsui, H. Ikoma, T. Nakai, M. Yasunaga, M. Kido, T. Aoki, T. Rikiyama, K. Sano, A. Kudo, S. Katagiri, Y. Otsuka, T. Kuroki, T. Nomi, K. Yano, I. Endo, M. Ueno, A. Kanazawa, H.Terajima, S. Ko, G. Honda, Y. Seyama, H. Sunagawa, T. Aibara Questionnaire survey on work motivations of gastrointestinal and hepatobiliary pancreatic surgeons enrolled in a Japanese national interdisciplinary program *J Hepatobiliary Pancreat Sci*, [Epub Date 2016/08/11], 2016.
- 6 K. Kadono, Y. Uchida, H. Hirao, T. Miyauchi, T. Watanabe, T. Iida, S. Ueda, A. Kanazawa, A. Mori, H. Okajima, H. Terajima and S. Uemoto Thrombomodulin Attenuates Inflammatory Damage Due to Liver Ischemia and Reperfusion Injury in Mice in Toll-Like Receptor 4-Dependent Manner *Am J Transplant*, [Epub Date 2016/07/29], 2016.
- 7 Kubo, S., Takemura, S. Tanaka, S. Shinkawa, H. Kinoshita, M. Hamano, G. Ito, T. Koda, M. Aota, T. Yamamoto, T. Terajima, H. Tachiyama, G. Yamada, T. Nakamori, S. Arimoto, A. Fujikawa, M. Tomimaru, Y. Sugawara, Y. Nakagawa, K. Unno, M. Mizuguchi, T. Takenaka, K. Kimura, K. Shirabe, K. Saiura, A. Uesaka, K. Taniguchi, H. Fukuda, A. Chong, J. M. Kuwae, Y. Ohsawa, M. Sato, Y. Nakanuma, Y. Outcomes after resection of occupational cholangiocarcinoma *J Hepatobiliary Pancreat Sci* 23(9):556–564, 2016.
- 8 伊藤 剛、藤井佑介、福田明輝(大阪日赤)、有本 明 OK-432 硬化療法が奏功した側方リンパ節郭清後リンパ嚢胞の 1 例 *日臨外会誌* 77 巻 5 号 1183–1186 2016
- 9 Takehito Yamamoto(神戸中央市民), Shintaro Yagi, Kenji Uryuhara, Satoshi Kaihara, Ryo Hosotani Clinical factors that affect outcomes after anatomical versus non-anatomical resection for hepatocellular carcinoma *Surg Today*. Aug 8, [Epub ahead of print], 2016.
- 10 H. Okada, Y. Uchida, N. Matsuzaki, T. Goto, S. Nishimura, A. Kurita, T. Nishimura, DS. Yazumi and H. Terajima A case of neuroendocrine carcinoma in the hepatic hilar lymph nodes concomitant with an adenocarcinoma of the gallbladder *World J Surg Oncol* 14(1): 284 [Epub Date 2016/11/16], 2016.
- 11 Nagayama, S. Hasegawa, S. Hida, K. Kawada, K. Hatano, E. Nakamura, K. Seo, S. Taura, K. Yasuchika, K. Matsuo, T. Zaima, M. Kanazawa, A. Terajima, H. Tada, M. Adachi, Y. Nishitai, R. Manaka, D. Yoshimura, T. Doi, K. Horimatsu, T. Mitsuyoshi, A. Yoshimura, K. Niimi, M. Matsumoto, S. Sakai, Y. Uemoto, S. Multi-institutional phase II study on the feasibility of liver resection following preoperative mFOLFOX6 therapy for resectable liver metastases from colorectal cancers *Int J Clin Oncol*. Oct 17, [Epub Date 2016/11/16], 2016.
- 12 T. Ishii, E. Hatano, H. Furuyama, D. Manaka, H. Terajima, and S. Uemoto Preventive measures for postoperative bile leakage after central hepatectomy: A multicenter, prospective, observational study of 101 patients *World J Surg*, 40(7): 1720–1728, 2016.
- 13 岩村宣垂、金澤旭宣、井上善景、松原弘侑、後藤 徹、寺嶋宏明 経肛門的小腸脱出をきたした特発性直腸穿孔に対して腹腔鏡下手術を施行した 1 例 *日鏡外会誌* 21 巻 5 号 587–591, 2016.
- 14 福田明輝 閉塞性大腸癌に対するステント留置と手術成績 *日腹部救急医会誌* 37 巻 3 号 455–460, 2017